



深谷中だより



NO. 210

令和5年7月10日

横浜市立深谷中学校

校長 榎田 卓央

躍動する姿に感動しています

天候が心配された今年の体育祭でしたが、6月15日に無事開催することができました。“心を一つに～最高のアオハルを翔けぬけよう～”のスローガンのもと、体育祭実行委員を中心に全員が競技や運営に積極的に参加した体育祭は、見ていて多くの感動がありました。

中学生にとって初めての体育祭になった1年生は、緊張した面持ちでした。動きにぎこちなさも感じられましたが、学年種目や大縄跳びでは練習の成果を発揮できて良かったです。2回目の体育祭となった2年生は、いろいろな場面で1年生の模範となって動いていました。先生からの指示を待つことなく、後輩たちへの声掛けをするなど、成長を感じられ来年が楽しみにになったという思いです。3年生にとっては、中学校生活最後の体育祭。最高学年として後輩たちの良い意味での見本となり、体育祭全体をけん引した力そのものに躍動が見られました。

圧巻は、最後の『青春 深中ソーラン節』、全校生徒で取り組む深谷中の伝統です。私は深谷中に来て4年目ですが、今年のソーラン節は、踊りや声出し等、全てとても完成度が高いものだったと感じました。素晴らしいの一言です。体育祭でのみなさんの躍動する姿に、目を細めたものでした。

躍動と言えば、スポーツ部活動の夏の大会の応援にも行っていますが、そこでも普段の学校生活ではなかなか見ることの出来ないみなさんの輝く姿を見ることができました。勝利を目指して、チームメイトと力を合わせて試合に臨む姿、自分を信じ、そして仲間を信じる一人ひとりの思いがたくさんあふれています。一生懸命戦った後は、勝っても負けても、仲間をねぎらい、試合相手を尊重＝リスペクトする姿に多くのさわやかな感動がありました。勝ち負けよりも、一生懸命やったという達成感を得たことが、みなさんのこれからの長い人生できっと役立つと信じています。

また文化部のコンクールや大会もこれからですね。とても楽しみにしています。

間もなくすると長い夏休みが始まります。生徒のみなさんは、これからもさまざまな場面で成長していく大きな力があります。中学生という時期は、身体や心を大きく成長させる時期であり、もてる力を大きく昇華させる時でもあります。そのためには何事にも積極的に、自分自身から取り組むという強い意思と、仲間との協働が必要となります。私はこれからもみなさんの成長に向けさまざまに取り組んでいきます。みなさんの、“応援団長”として関わっていきます。みなさん、これからもクラスメイトやチームの仲間の良いところを見つけ、お互いを認め合い、もっともっと躍動してくれることを祈っています。



令和5年 深谷中学校 人権標語

きみの「フツウ」は だれかの「トクベツ」

第43回体育祭



総合優勝 赤組

学年優勝 1年3組

2年1組

3年3組



<開会式>



みなさん、体育祭お疲れ様でした。どのクラスも「心を一つに！～最高なアオハルを翔けぬけよう～」のスローガンのもと、練習から本番まで全力で取り組んでいたと思います。特に、伝統の「深中青春ソーラン節」では、全校が心を一つにして最高の踊りを見せてくれました。

3年生は最後の体育祭、全力で楽しめましたか？1・2年生は、来年の体育祭も盛り上げて、さらに良い体育祭にしていってください。

また、体育祭で深めたクラスの絆を次の合唱コンクールへと繋げていきましょう。

体育祭実行委員長 田屋 歩佑実



<100m走>

<ラケットレース>

<学級対抗リレー>

<大縄>



<1学年 背渡り走>

<2学年 台風の日>

<3学年 とびつき綱引き>

<綱引き>



<色別対抗リレー>

<深中青春ソーラン節>

<閉会式>

